

令和4年 畑作・野菜病害虫発生情報 第13号

作物名：飼料作物（牧草・とうもろこし類）

病害虫名：アワヨトウ・ツマジロクサヨトウ

アワヨトウ幼虫の発生を確認しましたが、発生量は少ない状況です。
また、ツマジロクサヨトウの飛来が確認されています。中老齢幼虫による食害盛期は「7月中旬～下旬」と予想されるので、飼料用とうもろこしやスイートコーン畑では、幼虫の食害に注意しましょう。

疑わしい虫を発見した場合は、病害虫防除所にお問合せください。

1. アワヨトウ幼虫の発生状況

- (1) 7月上旬の採草地及びとうもろこし類畑調査において、県南地域の2地点で若齢及び老齢幼虫が確認された（図1）。また、津軽地域の小麦1ほ場でアワヨトウ老齢幼虫が捕獲されている。なお、老齢幼虫は第1波由来（5月上旬飛来）、若齢幼虫は第2波由来（5月6半旬以降の飛来）と考えられる。



図1 アワヨトウ幼虫の捕獲地点

注) ○調査地点 ●幼虫捕獲地点 ▲小麦での捕獲地点



〔参考 多発型黒化幼虫と採草地での被害状況〕

〔デントコーンの食害株〕

2. ツマジロクサヨトウの飛来状況

- (1) 青森市浪岡増館とおいらせ町向平のスイートコーン畑に設置した性フェロモントラップのうち、おいらせ町において6月6半旬に2頭初誘殺された。7月1日を起点に予想される幼虫の食害盛期は「7月中旬～下旬」、飼料用とうもろこし及びスイートコーンの食害に注意しましょう。



[参考 アワヨトウの頭部の模様は「八の字」に対して、ツマジロクサヨトウの頭部の模様は逆Y字状]

3. 今後の防除対策

アワヨトウなどの幼虫食害を認めたほ場では以下の点に注意して防除を行う。

- (1) 早期発見に努め、老齢幼虫になると防除効果が劣るので、若中齢幼虫のうちに各作物毎に、適用害虫に登録のある殺虫剤を散布する。
- (2) とうもろこし類では、出穂前の若い茎葉を好んで食害し、成長した幼虫は芯部に潜行する特徴がある。株の上部からのぞき込むようにして、芯部の汚れ(虫糞)を目安に丁寧に観察し、食害株は見つけ次第捕殺する。また、子実にはヒゲ伝いに侵入し、種子を食害する。
- (3) 収穫間近の採草地では早めに刈り取りを行う。薬剤を散布した草地では家畜の放牧を控え採草給与しない。

県民の皆さまへのお願い
新型コロナウイルス感染拡大防止



<https://www.pref.aomori.lg.jp/koho/covid19kakudaiboushi.html>

《この情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 担当：主幹専門員 及川 健
〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1900
E-mail: byogaichu@pref.aomori.lg.jp

※当情報は青森県農業情報サービスネットワーク「アップル農場」：<https://www.applenet.jp>に掲載しています。